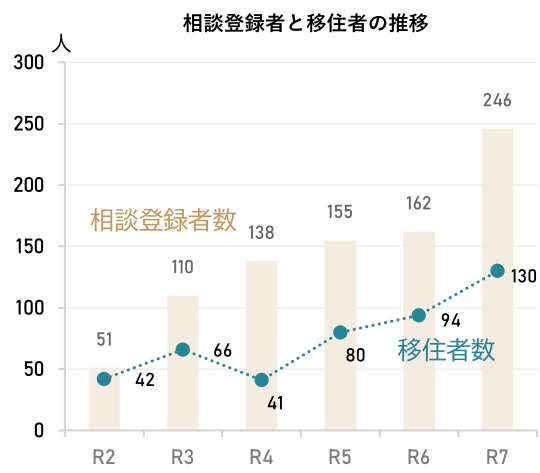


「ただいま」と「おかえり」

Uターンで見つけた幸せのかたち

8月は帰省の時期。久しぶりに子や孫に会えることを楽しみに、早くから迎え入れる準備をしている方も多いのではないのでしょうか。今月号は、帰省を心待ちにする「親世代」にぜひ読んでいただきたい特集です。



増加傾向にある本市の移住者数と相談登録者数。昨年は過去最高の130人が本市に移住しました。そのうち、約4割は本市出身のUターン。さらに、20〜30代の若い世代が6割を占め、東京からの転入が半数以上となっています。

本市では、多くの方が進学や就職を機に首都圏へと転出していきます。都会での生活は楽しく魅力的な反面、結婚や出産などの人生の転機を迎えたとき、ふと『地元の安心感』が恋しくなるもの。もし、あなたのお子さんがライフステージの転換期を迎え、地元へ戻ることを少しでも考え始めたなら「いわきに帰る」という選択肢を提案してみませんか。市では、補助金や相談体制など、さまざまな支援制度を用意し、Uターンを後押ししています。

親子

Uターン事情

に聞く

制度を知って話すきっかけに

鈴木 裕美さん（絵里奈さんの母）

帰る「場所」があるのは

贅沢なこと

中村 周二さん・絵里奈さん
本年6月に東京から絵里奈さんの地元であるいわきへご家族5人でUターン

「ただいま」 中村さん夫妻

（絵里奈さん）私は、結婚を機にいわきを離れました。東京で子育てをしていく中で、自分が育つたいわきと同じような環境で子育てをしたいと思うようになりました。そんな時、東京で開催されるいわきへの移住相談会を知り、夫と相談し、参加しました。「とりあえず話だけ聞いてみよう」という気持ちでしたが、さまざまな支援制度が充実しており、これをきっかけに「Uターンするなら今しかない」という気持ちに変化しました。

（周二さん）私は、仙台市出身で、妻の実家であるいわきには年に数回訪れていました。そのたびに娘たちがいわきに住む従兄弟と楽しく遊んだり、自然に触れられる環境がたくさんあり、とても素敵な場所だと感じていました。実際、いわきに住んでみると、東京と比べて、夜は静かで、風がとても心地良く感じます。

子どもたちが毎日、楽しそうに学校や保育園に通う姿を見ると、移住して本当に良かったと思います。

（絵里奈さん）娘の通う保育園の園長先生に、Uターンを相談した際「帰れる場所があるのは贅沢なこと」と言われたのが、とても心に響きました。

いわきでの生活は東京と違って、駐車場などを気にせず、車で自由に出かけることができ、フットワークが軽くなりました。母が近くにいと安心ですし、移住して心に余裕ができました。

「おかえり」 鈴木さん

（裕美さん）東京に自宅を購入していたので、もういわきには戻ってこないだろうと思っており、Uターンすると思っていたときは本当に驚きました。

長男と次男は、いわきに住んでいますが、娘のUターンを機に、家族みんなで集まる機会が増え、孫同士も楽しそうに、日常がとても賑やかになりました。Uターンの話を親からするのは、少し抵抗があるかもしれませんが、子どもも地元に戻ることを考えている可能性があります。私自身、もっと早くに支援制度を知っていたら、子どもと話すきっかけができたかとも思っているのですが、多くの方に制度を知ってもらい、活用してほしいです。

Uターン支援メニュー

まずは相談登録を→

いわき移住定住支援センター
事務局：いわきとつながる課

☎22-7551

✉info@iwaki-ijyu.com



①Uターンを検討する

まずは、いわきへお越しください！

交通費を補助

例 東京⇄いわき：8,000円

- 年度内1回限り
- 詳しくはこちら→



宿泊費を補助

宿泊費の8割 上限8,000円/泊

- 年度内3泊まで
- 詳しくはこちら→



お試し移住体験

4泊～14泊を支援

- 市内ゲストハウス利用
- 詳しくはこちら→



いわきでの「しごと」探し

- 企業を探すなら…
→いわき就職サポートサイト「フラ・ジョブ IWAKI」で検索
- 創業を検討しているなら…
→いわき産学官ネットワーク協会 ☎21-7570

新制度

本市に移住して、市内の病院で働く看護師、准看護師の方を対象に、
30万円を支援！



いわきでの「暮らし」

空き家バンク活用支援事業

最大 **50万円** 補助

- 空き家バンクに登録されている物件の取得・改修にかかる費用などを補助
- 詳しくはこちら→



奨学金返還を支援

未来につなぐ人財応援奨学金返還支援事業

返還支援額（上限） **153.6万円**（4年生大学の場合）

- 本市に定住し、市内事業所等で働く方の奨学金の返還を支援
- 詳しくはこちら→



“移住”に関する相談、お待ちしております！

ほぼ毎月、東京にて移住相談会を実施しています。予約制なのでゆっくり相談することができます。また、夜間も対応可能なオンライン相談やLINE相談も行っていますので、お気軽にご相談ください。

移住相談会in東京

- 開催日 8/2(日)、9/26(土)、11/21(土)、12/6(日)、来年1/23(土)、2/27(土)、3/27(土)
- 時間 10時30分～/12時30分～/14時00分～/15時30分～/17時00分～
- 場所 ふくしまぐらし相談センター(JR有楽町駅徒歩1分 東京交通会館8階ふるさと回帰支援センター)
- 予約方法 右の二次元コードからお申込みください



オンライン相談など

詳しい内容や申し込みはこちらから↓



UIターン移住支援金

対象

移住前の10年間のうち、通算で5年間（うち直近連続1年）以上、東京23区在住または東京圏在住で東京23区通勤の方

単身世帯：**60万円**

2人以上の世帯：**100万円**

+

18歳未満のお子さん一人あたり：**100万円**を加算

例) 夫婦 + 18歳未満の子2人 **300万円**

※居住地、勤務年数などの諸要件があります。詳しくはこちら→



その他の移住支援金

※詳しい要件や必要書類などは、ホームページをご覧ください→

制度を利用するには、転入前に「いわき移住定住支援センター」への相談登録が必要です



引っ越し費を補助

子育て世帯を対象に、移住に伴う初期費用を手厚くサポート！

県外から移住 最大 **10万円**

県内から移住 最大 **5万円**

- 転入日から半年以内に申請

ペーパードライバー講習補助

運転に対する不安を解消へ。運転が不慣れな方の安心をサポート！

講習費用 最大 **2.5万円**

LOCOCA **2万円** 分贈呈

- 転入日から半年以内に申請

家賃 or 免許取得費を補助

次のいずれかで、40歳未満の世帯の移住への金銭的負担を軽減！

家賃補助 最大 **12万円**

免許取得費補助 最大 **15万円**

- 転入日から1年以内に申請

いわきとの“つながり”をつくる

いわき市長 内田 広之



本市は太平洋に面し、温暖な気候に恵まれ、豊かな海で獲れる新鮮な「常磐もの」、栄養価の高い野菜や果物のほか、歴史ある温泉や、ゴルフ・サーフィン等のアクティビティなど、自然の恵みを生かした魅力にあふれています。これら地域の宝を、市外の方にも知っていただき、より一層、シティセールスを推進するとともに、観光誘客や移住者の呼び込みにつなげていくため、本年4月に「いわきとつながる課」を創設しました。

昨年本市への移住者は130人を超え、過去最高を更新しています。近年では、首都圏に進学・就職した若者が、いわきFCホーム戦のたびに帰省し、家族や友人と観戦している光景も目にするようになりました。ふるさとを離れてもいわきを身近に感じ、関わり続けてもらえるよう、今後も、誰もが楽しく幸せに暮らせるまちづくり・人づくりを進めるとともに、いわきの魅力を広く届けていきます。